



～ 働く意欲を育てる ～

～ コミュニケーションと自立する力を育てる ～

ライブで体験できるキャリア教育プログラム

## 『職業人インタビュー授業』プログラム



特定非営利活動法人キャリアサポートネットワーク

## 職業人インタビュー授業とは



「職業人インタビュー授業」の一番の魅力は実際に働いている人と児童生徒が直接対話できることです。

子どもたちが複数の職業人へインタビューすることを通して、仕事のおもしろさ、やりがいを理解し、就労感・職業意識を高めて、将来のキャリア形成へ活かすためのプログラムになっています。

子どもたち3～4名程度で1グループになってインタビューを行い、CSNから派遣された職業人が、自分の経験をもとに生徒からのインタビューに答えます。CSNから派遣されるのは、職業経験豊富なキャリアの専門家です。

## 「総合的な学習の授業」他、学習指導要領に沿ったキャリア教育ができます



新学習指導要領では、児童・生徒の「生きる力をはぐくむ」ことが大きな目的とされ、「勤労観・職業観を育てるためのキャリア教育」が明記されました。これからの社会を背負って立つ子どもたちに、正しい進路選択を促し、力強く生きていくためにキャリア教育は欠かせないテーマとなっています。

CSNの職業人インタビュー授業は、さまざまな職業人にインタビュー取材をするという活動を通して、仕事や働くことをライブ感覚で理解し、自己の職業観、就労観を真剣に考えるきっかけになる啓発的なキャリア教育の授業です。

## 「総合的な学習の授業」実施の一例

\*ここに挙げたカリキュラムは一例です。学校の事情に応じた柔軟な実施が考えられます。

### 1 限目

職業人インタビューの準備をしよう

- ・インタビューするチームを作る（各3～4名程度）
- ・インタビューの質問を作る
- ・インタビューの役割を決める

### 2 限目

職業人にインタビューをしよう

- ・職業人の紹介とあいさつ
- ・各5～10分ずつ1チームが職業人3人にインタビューする
- ・会場 体育館、各教室など

### 3 限目

職業人インタビューの内容をまとめる

- ・インタビューの内容をチームごとにまとめる
- ・インタビューして感じたこと、感想をまとめる
- ・各チームで発表する

## 職業人インタビュー授業の効果



・社会人へインタビューすることで、規範意識、マナーが身につきます。

・いわゆる講演ではなく、双方向にやり取りするので、コミュニケーション力が身につきます。

・グループワーク活動を核としているので、メンバーとの協調意識や仲間意識が芽生えます。

・まとめたものを発表することで、まとめる力やプレゼンテーション能力が身につきます。

## 実施に当たって、キャリアサポートネットワークが全面協力いたします。



・職業人インタビューに必要な会場は、児童・生徒さんと職業人が集まれるスペースがあれば充分です。体育館などで一堂に集まれる環境でも、各教室に分かれての実施など状況に応じて進行ができます。

・職業人の人数や生徒のグループ編成、授業カリキュラム内容の検討、会場の準備など、学校側の負担を軽減するために、当団体のスタッフが連携・サポートいたします。

・先生には授業自体へできるだけ注力していただけるよう協力体制をおこないます。

## 「職業人インタビュー授業」はさまざまな科目の単元との連携が可能です

■ 例えば、高等学校 国語「話すこと・聞くこと」の授業として

学習目標

- ・自分の意見や質問をわかりやすく伝える
- ・相手の意見や回答を理解できる
- ・対話を通じてコミュニケーションを体験する

指導要領との関連 国語総合 A (1) (2) B (1)、国語表現 2 (1) ア、イ、ウ、エ、オ他

1 限目 (導入)

### 職業人にインタビューしよう

- ・児童 3～4 名で 1 チームになり、職業人 3～4 名にインタビュー取材する。



2 限目 (展開)

- ・職業人インタビューを通じて知ったことをまとめよう
- ・職業人がそれぞれどんな仕事のやりがい、働くことについて感じていたかをまとめる。



3 限目 (まとめ)

- ・「質問」と「回答」について考えよう
- ・自分の意図したことを聞くことができたか。
- ・聞きたいことを話してもらうためにはどんな質問の仕方がよかったか考える。

他にも、公民「現代社会と人間としての在り方」「青年期と自己の形成」、家庭基礎「生活の自立及び消費と環境」、情報等と関連して実施することができます。

■ 例えば、中学校の国語教科「話すこと・聞くこと」、公民「現代社会と人間としての在り方」「青年期と自己の形成」、家庭基礎「生活の自立及び消費と環境」等と関連して実施することができます。

■ 例えば、小学校の国語教科「話すこと・聞くこと」の授業として

学習目標

- ・目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話すこと、相手の意図をつかみながら聞く能力を育てる
- 指導要領との関連 小学校国語科 (A 話すこと・聞くこと) 他

1 限目

- ・職業人インタビューの準備をする
- ・働く人、職業人に質問したいことを書き出す



2 限目

- ・職業人インタビューをする
- ・体育館などで、児童 3～4 名で 1 チームになり、職業人 1 人に 5～10 分程度ずつ 3～4 人の職業人にインタビューをする



3 限目

- ・インタビュー結果をまとめる
- ・質問したことと職業人の話したことをまとめる

## これまでの実施校実績

千葉県立浦安高等学校

2009 年、県と NPO の協働事業として、3 年生約 120 名が職業人 30 名にインタビュー実施

船橋市立行田中学校

2007 年、体育館にて 2 年生 100 名で生徒代表が職業人 2 名にインタビュー実施

船橋市立八栄小学校

2008 年、読売新聞記者によるインタビュー取材について学び、実践として職業人および保護者 20 名にインタビュー取材を実施

千葉市立みつわ台北小学校

2010 年、6 年生 2 クラス児童が各 1 時限ずつ交代で職業人 10 名にインタビュー実施

船橋市立法典西小学校

2012 年、2013 年、6 年生が読売新聞記者によるインタビュー取材について学び、実践として職業人および保護者 20 名にインタビュー取材を実施

船橋市立金杉台小学校

2013 年、同校キャリア教育「夢仕事調査～将来の自分をイメージしよう」の一環として、6 年生の生徒が 4 名 1 チームで職業人 8 名にインタビュー実施

## 現場の先生のコメント

- ・『生活していくためにお金を稼ぐ必要がある』という意見から、『人のため、社会のために働く』という意見や『自分自身の成長のため』『やりがいをかんじるため』というように、多様な意見を出し合い仕事に対してのイメージを広げることができました」
- ・「始める前と、今では、仕事に対する児童のイメージや思いが随分と変わってきています。『早く働きたい』『仕事するって大切なんだな』というように、肯定的な意見をもつようになってきたことは、大きな成長です」
- ・「準備などの高校側の負担が少ないにもかかわらず、多岐にわたる職業人との交流ができるプログラムなので、効果的にキャリア教育が実践できます」
- ・「何よりも感謝しているのは、生徒たちが楽しそうに、前向きに、さわやかに取り組んだプログラムであったことです」
- ・「職業人インタビューの本番に向けて、生徒がインタビューの仕方や社会人に対するマナーなど、自作自演のDVDを作ってモデリングを行い、生徒主体で取り組んだ授業になりました」
- ・「自分の興味ある職業の取材ではなく、ランダムにいろいろな職業を取材する形態は、待機している班を出さないなどの授業展開上も、また、職業の多様性を知り、興味の幅を広げる意味でも想定以上の啓発的学習となりました」

## アンケートに寄せられた 児童・生徒の声 (印象に残ったこと)

- ・「仕事などやることは同じだろうと簡単に思っていました。しかしみなさんの話を聞いて、仕事の内容もちがうし、色々な仕事につくには苦勞をしてやらなければいけないものもあって仕事はとても、大変だけど大切だということを感じました」
- ・「仕事は大変な事、楽しい事も両方ともあることがわかり、仕事のやりがいを質問したところ、何かをやりとげたときの喜び、と答えてくださった方が多かったので、印象が残っています」
- ・「仕事していて良かったことをきくと、ほとんどの人が「ありがとう」と言われたときと言っていました」
- ・「自分が就いた仕事のことを話すとき、すごく生き生きしていました」
- ・「いろんな人の話を聞いて、やっぱり自分に合った職業に就くことが一番大切だなと思った」
- ・「コンピュータ関係の仕事でも、大事なのは人と人との関係性だということ」
- ・「営業の仕事はノルマがあり、労働時間も長いのでとても大変だと思った。また、コミュニケーションを大事にしようと思いました」
- ・「勝手に思っていたイメージとは違って、辛いことがあってもプラス思考で物事を考えて、楽しくするような人が多くて、仕事のやりがいを改めて教えてもらった」



お問い合わせは

**特定非営利活動法人キャリアサポートネットワーク**

■事務局 〒274-0818 千葉県船橋市緑台 1-3-1-304

メールアドレス: info@cs-network.jp

電話: 047-440-1790 / ファックス: 020-4662-2067

ホームページ: <http://www.cs-network.jp/>